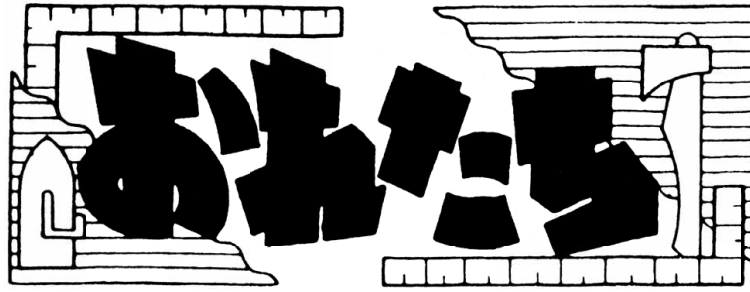


無料法律相談日の案内

7月19日(金)14時~16時

希望者は前日までに予約を

6月当初組合員数=1850人(+29人)



発行所
東京土建一般労働組合荒川支部
東京都荒川区荒川6-3-1
TEL(3892)9131 FAX(3892)9381
発行者・津田宗久/編集長・小熊賢一
<https://www.doken-arakawa.org/>

【小熊賢一教育宣伝部長(東尾久1分会)】年頭に発生した能登半島地震による被災地の復興支援として、全建総連を通じて応急仮設住宅建設の協力要請がありました。そこへ名乗りを上げて約1カ月に渡り、被災地へ救援に行ってくれた東尾久1分会の永田常彦さんにインタビューをしました。

まず、現地に行ってみると感じたことは映像で見るとは訳が違い、家屋が潰れていたり、現場へ向かう道路がひび割れていたり、至る所に震災の傷跡が残っていてとても生々しい凄惨な光景が広がっていたことに衝撃を受けました。

荒川支部初の被災地支援 私の仕事観が変わった 能登半島応急仮設住宅建設



永田常彦さん
(東尾久1分会)

間以上かけて現場に向かいました。高速道路で快適に進むのは違い、地割れや土砂崩れもあり片道通行だったり徐行したりと負担のかかる状況でした。朝は5時に出発しないと8時の朝礼に間に合わないのですが、唯一開いている近所のコンビニはまだおにぎりやお弁当は陳列されておらず、いつも売っているバナナが必需品でした。

現場は慣れない仕事、初対面の人などすべてが難しいと感じたのは、同じ大工でも普段どのような仕事をしていてどのようなことができるのかは人それぞれで、現場の監督も誰が何をできるのか分からないため混乱してしまうことが多々あった。



永田さんが手掛けた仮設住宅の65号棟



宿泊施設も震災によりボロボロでした

たという点です。「界壁」という言葉一つでも大工にとっては当たり前の言葉と感じる人もいれば、全く知らない人もいて、分からない人が分からないと素直に言える環境があったらもっとやりやすかったと感じました。

現場は8時から17時半まで、宿に着くのは大体20時ごろ。それから夕食の調達のために近くのスーパーに行くとはほとんどお弁当などは残っていません、夕食には足りなくなりました。銭湯も20時半までの営業でした。現場で自衛隊が設置しているお風呂も使うことが出来ましたが、現場で入って帰ろうとすると更に道が混み、帰る時間もどんどん遅くなるため大変でした。

休みの日に気分転換にご飯を食べに行ったり、お店の方やお客さん達と話して、自分が復興支援に来ていることが分かる感謝の言葉をいただいたり、奢っていただいたりしました。自分たちが

「私は仕事を65歳で引退しようと考えていたが、今回の復興支援を経験して仕事観が変わり、まだまだ役に立てることがたくさんあると実感し、引退するのを辞めてまだまだ続けていきたいと思った。今後、また同じような震災が発生し、復興支援の募集がかかったらきっと私はまた行くと思う」と笑顔で語ってくれました。

荒天の中、響くシュプレヒコール ~第95回中央メーデー~



【小熊賢一教育宣伝部長(東尾久1分会)】5月1日、第95回中央メーデーに参加しました。あいにくの雨模様でしたが、会場には大勢の人が集まりました。



傘を差しながらのデモ行進

結果は、優勝は大田支部、2位は足立支部、青年部は板橋支部となりました。悪天候で足元も悪い中、参加された支部の皆さん、ありがとうございます。



後継者主催

～潮干狩り&東京湾フェリー～
あさりも思い出もたくさん持ち帰りました



【田村高広後継者対策部長 東尾久1分會】5月26日、後継者対策部主催の潮干狩りレクリエーションを開催しました。全体で60人の仲間が参加してくれました。

当日は6時ごろに部員が集まり、楽しく安全にレクを開催できるよう当日の流れや注意事項などの打ち合わせを入念に行いました。出発時間は7時で皆さん遅れることなく集まっていたいただき、バスに乗り込み出発しました。バスの中では私と松本副部長の挨拶の後、参加者の皆さんに自己紹介をしていただき、お酒も飲みながら楽しく交流しながら会場に向かいました。

道中は渋滞やトラップも無く順調に進み、予定より早めに休憩地点の海ほたるに着きました。散策時間も約1時間と予定よりも多く確保できて、皆さん満喫されている様子でした。

休憩後、潮干狩り会場の牛込海岸に向かい、予定よりも早く到着し、着替えなどの準備時間も十分に確保できたため、慌てることなく準備が出来ました。皆さん到着すると同時に様々な装備を取り出し、本気で探ろうとしている様子がかえりました。

入場するまでは長蛇の列で込み合っていました。待ち時間も交流をしながら待っていたのであったという間でした。

いざ入場すると皆さん目を輝かせてどかたぐさん採れるのか必死に考えながら一生懸命潮干狩りと向き合っ



ていました。あまり潮が引いていないところにも果敢に挑んでいく方もいらっしやいました。皆さん上手にポイントを見つけたらようで、多くの方が袋をパンパンにして笑顔で帰ってきました。

潮干狩りの後には「保田漁協ばんや」で昼食をとりました。1時間も無い短い時間で昼食でしたが、皆さん楽しく交流ができました。

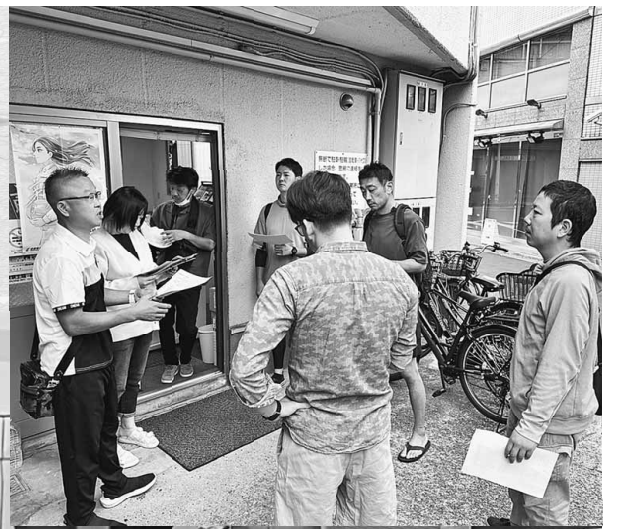
昼食後は「道の駅保田小学校」に向かい、お土産を買ったり美味しいものを食べたたりそれぞれ楽しんで過ごしました。

その後、金谷港へ向かい久里浜までフェリーに乗りました。比較的气温は高かったですが、海風が気持ちよく、多くの方が甲板に出て風を浴びながら楽しく談笑していました。

久里浜港に着いた後はバスで支部へ向かいました。帰りも大きな渋滞は無く、無事に時間通りに支部に着きました。帰りのバスは皆さんはしゃぎ過ぎたのかスヤスヤと寝息を立てている方が多かったです。

天候にも恵まれ、渋滞もトラブルも無く、今回のレクは大成功だったと感じました。小さな課題は残りましたが、次回のレク開催の参考にし、次はさらに良い企画を出れるよう後継者部全員が一丸となって頑張っていきたいと思います。

参加してくれた皆さん、本当にありがとうございました。ぜひ次回も参加して下さい。



拡大目標秋・春連続達成 6月現勢は1850人へ

【津田宗久執行委員長 東尾久1分会】2ヶ月間に渡る春の結びづくりdays、皆さま本当に疲れ様でした。

全分会役員、活動家、書記局、皆さんの奮闘のお陰で支部目標を上回る超過達成が出来ました。

昨年の秋の拡大達成と連続達成は7年ぶりの快挙です。そして最終盤では成果0分会も無くすことができ、まさに組合総力を挙げた行動となりました。大橋・田村常任が後継者訪問で

4つの分会オルグに入りましたが、全分会で後継者訪問設定が出来なかった課題が残りました。これからまた夏の取り組み、秋の月間と通年拡大行動にもなりますが本部の要求アクション学習会でも学んだように大きな力を組織して団結して私たちの仕事や暮らしをよめにも今後もご協力お願いいたします。荒川支部発展の為に全分会の発展が必要不可欠です。新しい仲間と私たちの知らない仲間と

沢山繋がっています。新しい仲間を育て受け継がせて大きな輪を築いて欲しいと思います。これからもみんな力を合わせて頑張ってくださいませ。

【増山國吉さん 西尾久分会】今回の拡大は目標が10人とハードルが高かったですが無事に達成することができました。

序盤は事業所の加入等もあり6人までは順調に加入してくれました。しかし、そこから伸び悩み、拡大行動に参加する人数も減ってしまい苦戦していました。後半戦では無事目標を達成することが出来ました。また、最終盤では、日頃



支部の打ち上げには多くの仲間が参加しました



超過達成を祝して焼肉でお祝いの西尾久分会



厳しい状況ながらも最後まで諦めなかった南千住分会



後継者世代の活躍で達成した東尾久1分会



新役員も活躍し達成した町屋南分会



ベテランの底力を発揮して達成を果たした荒川分会



超早期達成を果たした日暮里2分会

【水戸部正平さん 東尾久2分会】今回の拡大月間は目標5人に対して6人の成果と超過達成となりました。拡大行動の参加者はいつも多くても2人、少なければ1人で、高齢の参加者のみなので夜間の訪問行動は中々難しく、電話かけを中心に行いました。

今回の拡大は日頃から声掛けて関係を構成できている事業所の新規従業員の情報をきちんと得られていたことが大きかった為、日頃からの関係づくりの大切さを改めて実感させられた月間となりました。次の秋の拡大も頑張ります。

【小熊賢一 副執行委員長 東尾久1分会】春の結びづくり月間、お疲れさまでした。東尾久1分会は、5名の新しい仲間を迎え目標に届きました。ご協力

【堀井龍二 通信員 日暮里1分会】5月5日、午前10時頃、日曜拡大行動を行うため川又宅に集まり、タオルを持って東日暮里6丁目から西日暮里まで資料とタオルをポストに入れて回りました。また、川又さんが集金に

春の結びづくりdays最終成果

分会	目標	達成
西尾久	10	13☆
東尾久1	5	5☆
東尾久2	5	6☆
荒川	8	9☆
町屋北	6	3
町屋南	6	7☆
日暮里1	4	2
日暮里2	6	8☆
南千住	6	3
事業所	8	10☆
直属	1	3☆
合計	65	69
青年部	4	8☆
ザ・レディース荒川	12	12☆
荒友会	9	9☆

お詫びと訂正

おれたち667号1面の「2024年度支部役員」におきまして役職名に誤りがありました。「副執行院長」となっていました。副執行委員長とさせていただきます。ご迷惑をおかけし申し訳ございません。再発防止に努めます。